


FKC^{The}
furano kotobuki college Times

富良野市教育委員会学びのまち推進課学びのまち推進係

電話 0167-39-2318 文責：上 用 眞一郎



“言葉にならない言葉”

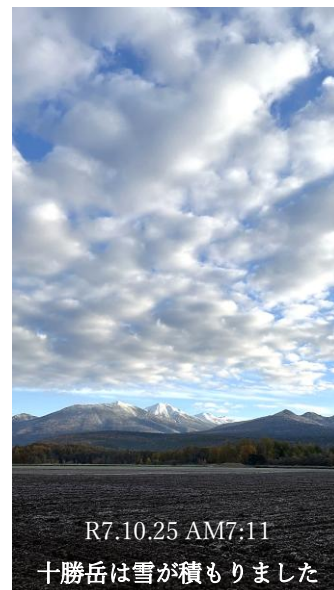


早いもので、10月もまもなく終わりです。十勝岳連峰や北の峰には既に雪が降り、まもなく平地でも…先週の土曜日にタイヤ交換をしました。

月曜の夜から雨模様、翌日の早朝、とても静かでしたので窓のカーテンを開けると真っ白な雪景色、積雪3センチ…風も出て来て、大雪になるかと思うほどの雪が降りだしました。

文化祭が終わったら、週末の小春日和を期待して冬支度もラストパートです。

皆さんは、きっと冬支度も終わってのんびりと過ごしていることでしょう。



「言葉にならない言葉」をご存じですか。この言葉は、1971年（昭和46年）に発表されたフォークグループ「赤い鳥」の曲です。彼らの曲には、合唱曲にもなっている「翼をください」がありますが、この曲の方が有名かもしれません。

中学校時代、私はギターに興味を持ち、禁じられた遊びを練習したり、コードを覚え弾き語りもしていた中に、この曲があります。平山泰代のソロです。

あなたと二人 こうしていると 言葉をなくす私
 心の中にあふれるほどに 想いは充ちてるのに
 私は何も 言えないままに あなたを見つめるだけ
 言葉でなんか あらわせないの 私の愛の想い
 汀（なぎさ）に浮かぶ貝がらみたい なんにも言わぬ私
 あなたはだけど 分かってほしい 私の胸の愛を
 あなたはだけど わかってほしい 言葉にならぬ愛を…

何故、今「言葉にならない言葉」を思い出したかと言えば、ことぶき大学では初めての「手話講座」を開催することになったからです。ことぶき大学では「コーラス」の中で手話を取り入れています、手話の基本をあらためて楽しく学びたいと思い、健康講座でお

世話になっている社会福祉協議会の喜多課長さんの紹介で実現しました。

自分の思いを言葉で伝えること、もし言葉がなかったら自分の思いをどう相手に伝えるのか。それには言葉に代わるものが必要なのです。でも、自分の思いを言葉で表せないこともあります。でも、どうか私の思いを感じ取ってほしい…というときの表現方法を考えたことはあまりないと思います。

私は思います。手話を学ぶことは、新しいコミュニケーションづくりです。聴覚に障がいのある方とのコミュニケーションだけでなく、異なる文化や感性を持つ人々とのふれあいの場にもなります。

「手話」は、無言の言葉の一つの形でもあると思いますが、それ以上に微妙な手の動きや表情、まなざしを大切にし、思いと心を伝えるものだと思うのです。

「手話で思いを伝える」…そんな手話講座にしましょう！！

手話講師の土師 桂子（はじ けいこ）さん、通訳の近藤ゆかりさん、どうぞよろしくお願ひ致します。

ところで、言葉にならない言葉…妻からのリクエスト

見覚えのある レインコート
黄昏の駅で 胸が震えた
はやい足どり まぎれもなく
昔愛してた あの人のね
懐かしさの一步手前で こみあげる 苦い思い出に
言葉がとても 見つからないわ・・・

互いに心の動きを感じ取れるコミュニケーションをあらためて大事にしたいですね。

さて、いよいよ今週末から第58回市民総合文化祭が開催されます。

第58回 **市民総合文化祭**

1 富良野会場の日程と内容について

◎ 作品搬入 10月31日（金）15時00分～17時00分

各クラブ皆さんは、15時に文化会館の集合してください。

◎ 作品展示 11月1日（土）9時00分～21時00分

午後：芸能発表

11月 2日(日) 9時00分～21時00分

午前：表彰式 午後：芸能発表

11月 3日(月) 9時00分～15時00分

◎ 作品撤収 11月 3日(月) 15時00分～17時00分

	【生涯学習センター】	【山部福祉センター】
山 部 会 場	◎作品展示・催し物	◎芸能発表
	11月1日(土) 9:00～17:00	11月3日(月)
	2日(日) 9:00～15:00	14:00～16:30
	◎市民茶席	
	11月2日(日) 10:00～	問合せ：山部支所(42-2121)

	◎作品展示	◎手づくり体験広場
東 山 会 場	10月31日(金) 9:00～20:00	11月1日(土) 10:00～15:00
	11月1日(土) 9:00～15:00	・インド刺繍で小物作り(材料費：500円)
	◎芸能発表	・シーリングスタンプ作り(材料費：500円)
	10月31日(金) 17:30～20:00	・樹海茶席 ・書遊会(揮毫会)
	会場・問い合わせ 東山公民館(27-2121)	※書遊会のみ13時からになります。

本日、10月29日(水)学習日程

午前：クラブ学習 : 市立富良野図書館

午後：手話講座 I : 複合庁舎文化会館会議室 CD

9時30分 : 朝の集い : 市立富良野図書館 2階多目的ホール

9時50分 : クラブ学習準備

10時00分 : クラブ学習

◎ 市民総合文化祭展示準備

切り絵クラブ・・・パネル5枚(両面10面)

テーブル2脚

絵手紙クラブ・・・パネル5枚(両面10面)

書道クラブ・・・パネル10枚(片面10面)

陶芸クラブ・・・テーブル3脚

・クラブ名は事務局で作ります。作品名や氏名のプレートについて希望があれば事務局でつくります。

・展示と撤去時間を確認してください。

12時00分 : 休憩 昼食

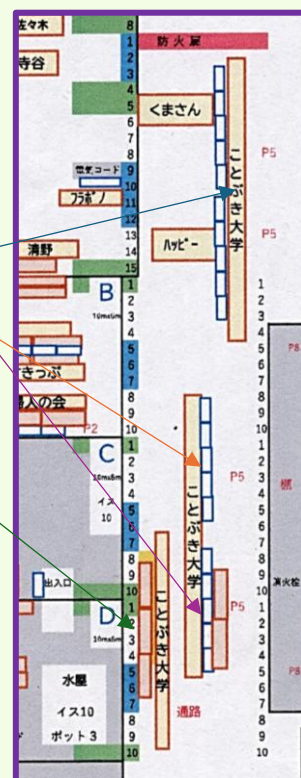
複合庁舎文化会館 CD に移動します。

13時00分 : 手話講座 I

講師：土師 桂子(はじけいこ)先生

通訳：近藤ゆかり(こんどう ゆかり)さん

15時00分 : 終了 後片付け



次回、11月5日(水)学習日程

集合 : 図書館2階多目的ホール

午前: クラブ学習 : 市立富良野図書館

午後: 手話講座Ⅱ : 複合庁舎文化会館会議室 CD

9時30分 : 朝の集い 市立富良野図書館2階多目的ホール

9時50分 : クラブ学習準備

10時00分 : クラブ学習

クラブ学習の発表の場は、新しく今年度から「図書館祭」が加わりましたが、第58回市民総合文化祭の展示が活動のメインイベントになります。

この後のクラブ学習は、「卒業作品展」に向けての取り組みとなりますので、よろしくお願いします。

なお、今回市民総合文化祭に出展した作品は、ポップブリッジでも展示することになりますので、各クラブで作品を選定してください。

また、ポップブリッジでの作品交換日はあらかじめ各クラブと相談します。

12時00分 : 休憩 昼食 複合庁舎文化会館 CD に移動します。

13時00分 : 手話講座 Ⅱ

15時00分 : 後片付け 終了



三市町芸能発表交流会

10月16日(木曜日)上富良野町保健福祉総合センター かみんにおいて、三市町芸能発表交流会が盛大に開催されました。



ことぶき大学山部校の踊り「炭坑節」は、会場の皆さんと一緒に楽しい踊りを披露、事務局も南さんも一緒に踊り会場を盛り上げてくれました。また、今年度初めて取り組んだ「リズムダンス」は軽快で楽しく、「コーラス」では手話



入り、詐欺未然防止啓発を、スコップ三味線は元祖ことぶきの伝統を重んじ、カラオケも本当に聴かせてくれました。



ことぶき大学で取り組んでいる学習活動はすべて公開するために取り組んでいます。クラブ学習においては、各種作品展示で発表、茶道クラブでは、卒業式にお茶会を開くことを考えています。



「コーラス」と「リズムダンス」は二者択一です。これらは学年の枠を超えたコミュニケーションを深めることと健康保持増進にあります。



特に、今年新たに取り組んだ「リズムダンス」での講師 鴫田洋子先生、「コーラス」講師の赤尾琴子先生と大西ちはる先生、時間を超えて指導していただきました。



とても感謝しています。

さて、発表会はこれで終わったわけではありません。この一年間の集大成として、12月10日(水曜日)、研究実践発表会で発表予定です。学年別研究発表とともに、練習を重ねましょう。



- | | | |
|------------|----------------|-------|
| (道新 10/18) | 蚊の唸り耳障りなる夜の床 | 伊藤 公雅 |
| | ランナーを鳴いて励ます蝉の声 | 佐藤 別空 |
| (道新 10/25) | 蝸牛紫陽花の葉を登りゆく | 梶川 利春 |
| | 溜り水数ぼうふら生まるを見 | 平沢美代子 |



ことぶき大学山部校 秋の研修会



“10月22日(水)ことぶき大学山部校生徒で池田ワイン城と十勝川温泉(道の駅のスパ)に行って来ました！！”

山部校から秋の研修会のたよりが届きました。スパの湯気とワインの芳香。



皆さん！
そろいの水着！
必見。



寄稿文

連載自叙伝

「それから私の(富良野編)」

ことぶき大学第二研究生 伊藤公雅

その三

無残な体制で運転席に座ったままの機関士や機関助士、そして手摺に掴まったままの状態、水中に沈んでいた指導員Kさん、遺体引揚げに加わり、見るも無残な姿に声もなく誠に悲惨な状況でした。指導員Kさんの顔は、鉄の爪で抉り取られた様な原型をとどめない、真面には見られない状態で、その姿は非情にも無残な状態でした。

この事故が発生する30分程前に、通勤通学の満員旅客列車が通過していた。

もしその列車がこの惨事に遭ったらと、思うと身の毛が与奪った。そういった生々しい記憶も脳裏から離れませんでした。

普段休日や夜勤明けの日には、職場の野球チームで練習や試合をした。

また、警察の道場に通い子供達に柔道を教え、子供達が帰った後、大人同士の練習に励んだ。私と乱取の練習中、足を押さえて痛てと床に転げた。足首の骨折である。

急遽、救急車手配の為、警察署の事務所に駆け込んだ所、当直の警官に理由を聞かれ、骨折した旨を話した。

パトカーで緊急輸送するので、その対応をする様に指示を受けた。

骨折したK氏は、橋梁復旧工事に昼夜兼行で従事していた。その作業の疲れが重なり体力が落ち、思う様に力が入らなかったと思われる。漠然とは覚えていたが、骨格は筋力で支えられていることを改めて知った。

近隣のお祭りに子供達を引率し、神社の奉納柔道大会に参加、帰りにはアイスを頬張りながら戦果を褒め称え、屈託のない明るい皆の笑顔を出す。

これまで蒸気機関車、ディーゼル機関車の運転業務を担ってきたが、世の中のモータライゼーションの発達に伴い、私達の職場にもその影響が始めて来た。

外燃機関から内燃機関へ、人手の掛かる非効率な作業を合理化する案が出された。乗務員も機関士と助士の二人乗務であったが、機関士の一人乗務の提案が出されこの先どの様に身を任せるのが良いか、自問自答する日が多くなって来た。

要員募集の掲出があった。知人を介しその具体的内容を聞いたところ、是非行った方が良いとの意見を聞き職場に応募する旨を具申した。

話がトントン拍子に進み、師走に入り翌年一月に仙台に有る東北鉄道学園に入所する通知が来た。

正月明けの7日に入所し、六か月の長期に亘る教習計画で、職場関係箇所への挨拶回り、アパートの大家、家財道具の引っ越し、そして列車の指定席手配等、気忙しい日々が続いた。

仙台駅は木造の古い建物で薄暗いイメージの感が有り、駅からタクシーを利用したが、気の粗い運転手で狭い裏道、速度を落とさずクラクションを鳴らし乍ら走った。

鉄道学園は仙台球場に程近い場所に有り、宿泊棟は5階建て、教習棟とは廊下を繋いだ一体型の建物、寝泊まりする3階の部屋は、一室6人で、小樽、盛岡、青森、秋田、そして地元仙台の出身者達でした。

受講クラス名は特設工事科、年齢は21歳〜36歳位まで独身、妻帯者を含め総勢39名の人達でした。

東北訛りの言葉は慣れるまで暫く掛かりましたが、徐々に理解出来る様になったが、同県同士の会話は何を話しているか解らなかつた。

授業内容は鉄道一般から始まり、測量、土質工学、コンクリート工学、応用力学、施工法、製図等、土木技術者に必要なカリキュラムが用意されていた。

講師は工業高校の教師から応力、土質、コンクリートの講義を受け、測量、施工法等は、実際に工事現場に務めている現場長が講義に見えた。

現場見学は建設工事中の一ノ関トンネル、長大トンネルは先行して早くから工事を進めている。新幹線の複線トンネルなので広大な現場には大型機械が動いていた。

測量実習では広い土地を利用して、慣れない機材を持ち歩きメガネ（レベル、トランシット）を覗いてはレベルブックに記帳していく。

定期的に理解度テストが有り、部屋のメンバーと夜遅くまで机に向かった。休日には近隣から来ている妻帯者達などは、自宅へ帰り寮の中が静ま
りかえる。

寮に残った者同士、地元講師からお進めの、近くの居酒屋へ繰り出す。東北訛りの仙台弁は、話の相槌にウンダッチャと頷くのが習慣らしい。店主のおかみさんと、常連さんと思われる人との会話から、その頷き

を真似てウンダッチャ、ウンダッチャと、ワルツの拍子に合わせて小皿を叩いて談笑した。

学園生活も終盤に差し掛かり、卒園後の勤務地の希望調査が始まった。私の第一志望は仙台とし、順次盛岡、東京の順に希望を書いた。狡賢い人は一貫して同一地名を記した様だ。

六月末、半年間苦楽を共にした級友達、各職場に戻りこれからの配属先にそれぞれが散っていく、卒園式ではお互い今後の検討を誓い合い帰路についた。

七月中旬、私は東京第三工務局勤務を命じられ、八月七日までに当該箇所に着任する旨の辞令が有った。

青函連絡船に揺られ、青森から寝台特急を乗り継ぎ、上野駅に着いた、通勤通学客で混み合う駅構内は、行き先表示もゆっくりと見られない有様。押し潰されそうにやつとの思いで電車に乗り込み、新宿駅に着くと同時に戸口から弾き出された。

近くの喫茶店でモーニングを頼み、少々の休息と時間調整を図った。その東京第三工務局の入った建物は、新宿駅南口。甲州街道をはさみ、中央線や山の手線、小田急線が複雑に行き交う駅構内の線路脇に、悠然と建つ13階建ての国鉄設計センタービル七階に有った。

この年八月で満二十六歳、不安とやる気が交錯する新転地での門出でした。（続く）

「青年編」が終了しました。ここまでくると次は「壮年期」、成熟と収穫、問い直しの時：伊藤さん、待ってます！

